



新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

里山保全地区・葛島山で「プレーパーク」を開催！

12月14日(土)、高知市葛島の葛島山にて、子どもが自由な発想で遊ぶ「プレーパーク」を開催しました！

葛島山は、昭和21年の南海大地震による津波から地域住民を守った「命山」であり、高知市里山保全条例に基づく「里山保全地区」に指定されています。今回、地域避難場所としての認知拡大や里山の機能を「生かす」里山保全活動につなげるため、「NPO法人みんなダイスキ松山冒険遊び場」の協力のもと、地権者等で構成する葛島山保善会と葛島公民館自主防災組織の主催で「プレーパーク」を開催しました。



【里山保全地区とは】

本市では、高知市里山保全条例に基づき、防災機能や地域文化の学習・伝承等を保全することが必要な里山を「里山保全地区」に指定し、土地の所有者等と協定を結び、継続した里山保全活動を行っています。

今回は、協定締結者が、「高知市里山保全事業補助金」のうち令和3年度から実施している「里山利活用事業」を活用し、専門家の派遣による里山の機能を活用したイベントを実施しました。

【NPO法人みんなダイスキ松山冒険遊び場とは】

愛媛県松山市を拠点に活動するNPO法人。自然体験事業やフリースクールといった子どもがのびのびと遊び育つ場所を提供しています。

遊び道具を載せた「プレーカー」から道具を取り出し、葛島山に設置！木にロープを括り付けてブランコを作るなど、葛島山の自然環境を活かした遊び場をみんなで作りました！



葛島保育園の園児や地元の小学生・保護者を中心に、約40人が葛島山に集まりました！ビー玉遊びや秘密基地作りなど、思い思いに遊びを楽しむ中で、住民同士の会話も弾みます♪



葛島山で遊ぶ中で、避難路を登ったり、防災倉庫を確認したりと、災害時に命を守るための取組が自然と身に付きました！

今回のプレーパークをきっかけに、「命山」としての葛島山の役割を知り、日頃から葛島山に親しむ人が増えればと思います。



葛島山保善会と葛島公民館自主防災組織の皆さんも、参加者と交流しながら準備や運営に大活躍！「今度はここでお花見しよう」「お弁当も食べよう」と語り合う場面もありました♪

自然資源を活用し、自然と人を楽しくつなぐ今回の取組を、鏡川流域関係人口創出事業にも活用していきたいです！



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone



Android